

外環計画地横の「野川」水中生物

(世田谷区)

外環は世田谷区内では野川沿いを通ります。私が代表をつとめる喜多見ポンポコ会議では、2000年夏以降、季節ごとに野川の生き物調査(「野川ガサガサ」と呼んでいます)を行っており、これまでの集計結果は下表のようになっています。

野川には四季を通じて沢山のメダカが生息していますが、メダカは、環境省の「レッドデータブック」で絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している種)、東京都の「東京都の保護上重要な野生生物種」で多摩部A(絶滅の危機に瀕している種)、区部B(絶滅の危険が増大している種)に指定されている魚です。

野川にメダカが多いのは、(1)湧水なので、水が比較的綺麗なこと(2)流れが穏やかなこと(3)卵を生み付けたり稚魚を守る繁殖可能な環境があること(4)獲り去る人間が少ないこと、といった事柄の複合的な要因によるものと考えられます。

2002年秋以降は喜多見児童館も参加し、野川で採れた魚の一部は児童館で飼育され、子ども達の人気者となっています。このような野川の環境を守り、子ども達が身近な自然に触れる機会を奪わないようお願いします。

野川ガサガサ結果

メダカ	709	タニシ	3		
モツゴ(クチボソ)	171	ヤゴ	15		
タモロコ	33	カゲロウ	1		
フナ	42	ヒル	13		
ナマズ	8	アメンボ	沢山		
コイ	69	ミミズ	2		
オイカワ(ヤマベ)	2	トビケラ	1		
ドジョウ	2	ミズムシ	29		
ウシガエルのオタマジャクシ	296	ヒラタドロムシ	1		
エビ	526	カメ	3	種類	28
アメリカザリガニ	114	その他	8	収穫数	2,048

※ 喜多見ポンポコ会議「野川ガサガサ結果」より2000年夏～2003年春の全12回分を合計。ただし、ゴミ拾いのみの回、雨で中止となった回があり、実質10回分。

※ 実施場所は中野田橋から茶屋道橋付近。

以上/2003.5.13 江崎美枝子

● 参考：野川ガサガサの様子

実施場所



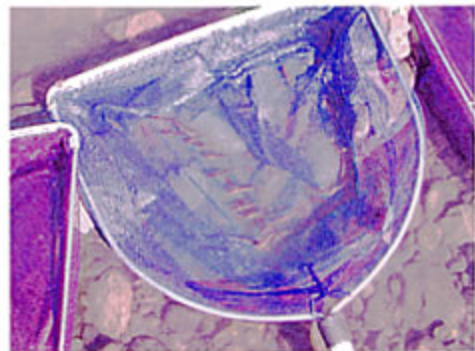
種類ごとに分けて数えます



思い思いの場所でガサガサします



メダカ



玉網を覗き込む子ども達



2003年5月11日の参加者



写真提供：喜多見ポンポコ会議